

講義コード	25468028	
担当者	前 田 高 志 教 授	
研究題目	地域の活性化、地方財政、税制改革など（分野：財政学、地域政策）	
<p>I ゼミのねらい</p> <p>就職活動において企業の採用担当者は「大学生活の中でどんな付加価値をつけたかがわかる学生を探している。そして、組織の中でどんな力を発揮することができるかということで見ている。」といわれます。ゼミは大学において、その「付加価値」を付け、自分自身を高める大切な場です。前田ゼミでは、皆さんが①問題、課題を見い出す力、②現状を分析する力、③問題、課題の解決方法について論理的に考える力、④他のメンバーと協力して課題に取り組む力、⑤多くの人の前、とくに社会人の前で説得力のある発表をする力、などの「価値」を付加できることをめざします。</p> <p>II ゼミの活動</p> <p>上記の目標を実現するため、前田ゼミでは、同じ研究対象に関心をもつ数名で政策研究プロジェクト（Policy Research Project）を企画し、自分達で決めた課題を研究するプロジェクト・チーム（PT）を編成して、自主的な研究活動に取り組みます。PT はゼミ教員の助言も受けながら、文献研究やデータの収集・分析、地方自治体や地方議員、企業、NPO 法人等へのヒアリング調査、地域フィールドワーク等を行います。これまで先輩たちが取り組んできた主な分野は、地域活性化（中山間地域、大阪市、阪神間都市）、自治体財政・経営改革、税制改革、震災復興、環境政策などで、学年によりさまざまです。</p> <p>研究成果は、3 年生 6～7 月の「経済学部財政 4 ゼミ研究報告会」や 11 月後半の「名古屋市立大学・関西大学・同志社大学財政 4 ゼミ合同研究報告会」等での報告を経て、最終的に 12 月初めに学外のホールにおいて公開で開催される「政策研究プロジェクト報告会」で発表します。2013 年は 30 名以上の市議会議員や自治体職員や、NPO 関係者、一般市民等が報告を聞きにきて下さいました。このような機会を設けているのは経済学部で、というか大学全体でも前田ゼミだけです（多分）。聴衆の皆さんからはかなり厳しい質問やコメント等がなされますが、それも絶対に皆さんにとって貴重な経験、財産となります。また、報告の内容は毎年「政策研究プロジェクト報告書」として刊行し、関係者に配布しています。</p> <p>このほか、ゼミ生には公務員志望者が多いため、希望者を対象に公務員試験対策勉強会（サブゼミ）も行っています（合格実績：大阪府、兵庫県、神戸市、和歌山県、西宮市、尼崎市、伊丹市、加東市、国税専門官、地方検察庁、労働基準局など）。※無論、民間企業希望者も歓迎です。</p> <p>III ゼミ説明会と志望理由書・自己推薦書</p> <p>当ゼミ志望者はゼミ説明会に必ず参加して、詳しい説明を聞いて下さい。面接時に志望理由書、自己推薦書を提出して頂きますが、その内容や選考基準等についてもゼミ説明会でお話しいたします。なお、説明会への参加を条件に、随時、研究室でも質問等はお受けしますので、お気軽にお訪ね下さい。</p> <p>※経済学部ホームページのゼミ活の前田ゼミのコーナーも参考にして下さい。</p>		
受け入れ条件		説明会への参加と面接（面接時に志望理由書、自己推薦書提出のこと）。
担当者のプロフィール	専攻	財政学、自治体経営論、地域政策
	現在の研究テーマ	自治体経営、行財政改革、地方分権時代に相応しい地方税制、アメリカ財政、地域活性化、税制改革
	所属学会	日本財政学会、日本地方財政学会、アメリカ学会、